

学びを支える環境整備プロジェクト

函館市

～児童・生徒の学びを支える環境の充実を図ります～

事業目的

誰一人取り残さず個々の可能性を最大限に引き出す教育の実現に向け、学校に必要な多様な人材配置や、学校図書館の図書整備など学習環境の向上を図り、児童・生徒の学びの環境の充実をめざします。

取組内容

- ・ 特別支援教育支援員配置事業
市立学校における日常生活上の介助や学習支援を行う支援員を配置
- ・ アフタースクール運営事業
放課後および長期休業期間の小学校を会場にして学習支援を実施
- ・ プール学習実施事業
民間事業者等を活用し、安全かつ効果的なプール学習を実施
- ・ 学校図書館図書等整備事業 など

【事業担当者のコメント】

函館市が抱える多様な教育課題に対応し、子どもたちそれぞれが持つ能力を最大限に伸ばす、きめ細やかな教育の実現をめざしています。一人一人のニーズに応じた学習環境の実現のため、ともに応援していただける事業者の皆様からのご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール



[本事業の担当課]

学校教育部 学校教育課，教育指導課，
南北海道教育センター

～ 安心・安全な居場所づくりを進めるために～

事業目的

児童館は、函館市内に24施設設置しており、小学生が主たる利用者となっておりますが、未就学児から高校生まで幅広い年代に利用されています。「18歳未満すべての『子どもの居場所』（子どもの健やかな成長を支援する拠点）」を掲げ、児童館が一人でも多くの子どもにとっての居場所となることをめざし、創意工夫した特色ある取り組みの実施に加え、安心・安全に施設を利用することができるような環境整備等に取り組めます。

取組内容

児童館をより居心地の良い、安心して安全な子どもの居場所とするため、

- ・新たな遊具の購入
- ・防犯設備の設置などの機能拡充
- ・破損や老朽化した壁や床、設備などの改修

などに取り組めます。

【事業担当者のコメント】

昭和40年代から50年代に設置された児童館が約半数を占めているなど、各施設で老朽化が進んでおり、子どもの健全育成や子育て支援など、児童館に備わっている機能を最大限発揮するためには、安心・安全に利用できる児童館とする必要があります。

函館の未来を創る子どもたちへのご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール

11 住み続けられる
まちづくりを



[本事業の担当課]

子ども未来部 子ども健やか育成課

高等教育機関応援プロジェクト

函館市

～高等教育機関と連携し、持続可能な地域社会をめざす～

事業目的

函館市と大学等との連携を強化し、当市のまちづくりへの貢献や地域活性化を図るため、企業版ふるさと納税を活用し、各大学等が実施する地域社会の課題解決・スタートアップに関する教育等に向けた取り組みに対して支援を行います。

取組内容

キャンパスコンソーシアム函館に参加している市内の高等教育機関のうち寄付募集を希望する大学等が実施する、

- ・若者の地元定着に資する事業
- ・スタートアップに関する教育等に資する事業
- ・地域課題の解決に資する事業
- ・人材育成の充実・強化につながる事業

などの事業を支援します。

【事業担当者のコメント】

函館市の地域課題は急激な人口減少です。この流れを緩やかにし、持続可能な地域となるため、多様な価値観や柔軟な発想を持つ人材との協働による取組が必要です。高等教育機関のチャレンジを、ともに応援していただける事業者の皆様からのご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール

4 質の高い教育を
みんなに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



[本事業の担当課]

企画部 企画管理課 水産海洋・高等教育担当

企業立地補助金による企業誘致の強化

函館市

～ 進出しやすい, 選ばれるまちへ～

事業目的

企業にとって進出しやすい, 選ばれるまちとなるよう, 良好な交通アクセス, 高等教育機関等の集積による人材育成供給など, 立地環境の優位性を最大限にアピールすると共に, 社会経済情勢や企業ニーズに的確に対応した環境整備や支援制度の充実を図ることで, 地域の安定的な雇用創出と産業集積の活性化を図ります。

取組内容

函館市内に工場やIT企業オフィス等を新設・増設する際に, 設備投資等に対する費用の一部補助を行っています。

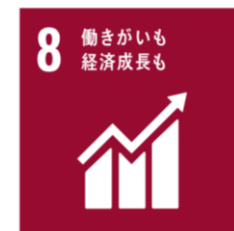
[例]

- ・ 製造業を対象とし, 工場等の設備投資額・雇用者数に応じて投資額の2.5~30%を補助
- ・ IT企業を対象とし, 雇用増1人あたり50万円, オフィス賃料の50%を5年間補助
- ・ 賃貸型の工場を対象とし, 工場等の賃料の50%を5年間補助

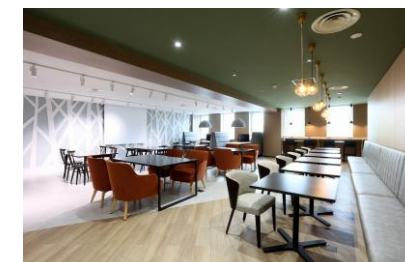
【事業担当者のコメント】

函館市内の特に高等教育機関を卒業した若者の多くが, 市外へ流出しているという大きな課題があります。地元に残りたい, もしくは一度市外に出て行ってしまった若者が函館に戻りたいと思った時に, 受け皿となり得る企業の誘致が必要です。ご協力いただける事業者の皆様からの支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール



ワイナリー工場 (設備投資を補助)



IT企業オフィス (賃料を補助)

[本事業の担当課]

経済部 企業誘致推進課

「働きやすい函館」の推進と地元企業の魅力発信プロジェクト

函館市

～ あらゆる人が働きやすく、若者や女性に選ばれるまちへ～

事業目的

急激に進む人口減少と、これに伴う生産年齢人口の減少が函館市の喫緊の課題となっているなか、ジェンダーギャップの解消による魅力的な地元企業の創出や、様々な制約がありフルタイム勤務が難しい方の「多様な働き方」の推進、高校生などの若者に向けた地元企業の魅力発信などの取り組みにより、あらゆる人が働きやすく、若者や女性に選ばれるまちの実現をめざします。

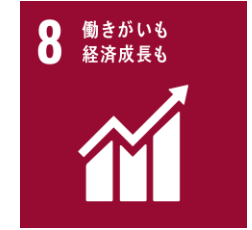
取組内容

- ・ジェンダーギャップの解消
地元企業向けのセミナーおよびワークショップの開催、学生による地元企業のジェンダーギャップ調査の実施
- ・若者に向けた地元企業の魅力発信支援
高校生向け仕事体験イベントの開催、高校生インターンシップの実施、高校と地元企業の連携支援
- ・女性・高齢者等の潜在人材活躍推進
「多様な働き方」の推進事業や広報の実施、スポットワーク活用支援

【事業担当者のコメント】

女性や、時間などに制約がある方も働きやすい環境の整備と、『函館で働く選択肢がある』ことを若い方々に発信し、浸透させるための取り組みを進めることで、当市の人口減少に歯止めをかけ、企業の人手不足解消を図るなど、『活力のある函館』の実現に向けた事業を展開していきます。

関連するSDGsゴール



令和7年度函館市委託事業「女性・高齢者の多様な働き方促進支援事業」
ご自身に合った働き方を希望する方への
おしごと説明会
皆さんの希望する働き方に寄り添って
働きやすい企業を積極的に紹介を支援します。
参加企業 10社以上予定

第1回 2026年1月14日(水) 13:00 - 16:00
第2回 2026年2月5日(水) 13:00 - 16:00

会場 亀田交流プラザ 3階多目的ホール(1階) 12:00-13:00 受付
履歴書用写真の撮影

託児室完備 替段着OK! 入退場自由 参加料 駐車場無料

様々なお悩み相談コーナーを設け!

同日開催イベント
14 冬の日の日
15 色々・カラダ・セルフチェック

受託業者 キャリアバンク株式会社 函館支店
〒040-0001 函館市本町1-1-1 4F TEL 0138-55-2002
E-mail hakodatejgyou@career-bank.co.jp https://diversity.hakodate-job.jp

[本事業の担当課]

市民部 市民・男女共同参画課
経済部 雇用労政課

持続可能な漁業の推進プロジェクト

函館市

～漁業生産の維持と漁業の持続的発展に向けて～

事業目的

第3次函館市水産振興計画に掲げる「持続可能な漁業の推進」、「安定した漁業経営の推進」、「漁業への着業の推進」の3つの施策を柱に、各種取り組みを推進し、将来に向けた漁業生産の維持と漁業の持続的な発展をめざします。

取組内容

- ・天然コンブ繁茂に関する技術研究
適正なウコの密度管理による藻場の継続モニタリング調査 など
- ・コンブ養殖に関する技術研究
養殖コンブの母藻から作出した種苗の海面養殖や、生コンブの保存・活用技術の開発 など
- ・漁業の担い手育成対策
漁業の仕事や生活を体験してもらう短期就業体験の受入れや、漁業研修の受講費用の支援 など
- ・小型イカ釣り漁業出漁支援補助
燃料費負担の大きい小型イカ釣り漁業者に対する支援

【事業担当者のコメント】

漁業は、水産加工業や観光業にも関連し、当市の経済を支える重要な産業です。漁業生産を維持し、漁業を持続的に発展させるため、事業者の皆様からのご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを



14 海の豊かさを守ろう



①天然コンブ藻場

③担い手育成対策



②成熟誘導促成マコンブ成長調査



④イカ釣り漁船

[本事業の担当課]

農林水産部 水産課

エネルギー地産地消の取り組み

～ 清掃工場のごみ焼却発電を活用し、
エネルギー地産地消の実現をめざす ～

事業目的

日乃出清掃工場のごみ焼却熱による廃棄物発電（バイオマス発電）は、リニューアル工事により発電量が約3倍となる見込みであることから、この電力を有効活用した地産地消の実現に向け、導入可能性調査を実施します。

この取り組みにより、電力の有効活用や、災害時における電力供給のリスク分散を図るほか、市内の温室効果ガス排出量の削減を通じてゼロカーボンシティの実現をめざします。

取組内容

専門家の知見を活用して、函館市に最も適した持続可能なエネルギー地産地消の事業の枠組みを構築し、令和11年（2029年）4月の新工場全面供用開始に合わせてスタートできるよう、事業実施に向けた準備を確実に進めます。

【事業担当者のコメント】

函館市では令和4年（2022年）2月にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年の二酸化炭素（温室効果ガス）排出量実質ゼロをめざして取り組みを進めており、本事業は中でも重要な取り組みの一つです。函館市が「環境にやさしいまち」をめざす取り組みを応援していただける皆様からのご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール



[本事業の担当課]

環境部 環境政策課

函館港GX・強靱化推進プロジェクト

函館市

～ GX（カーボンニュートラルポートの形成）と、
広域ネットワークである港湾の強靱化をめざす～

事業目的

ゼロカーボン北海道の実現や、生産空間の維持・発展と強靱な国土づくりを掲げた第9期北海道総合開発計画を推進するため、カーボンニュートラルポートの形成に向けて、今後の港湾のあり方を検討するとともに、広域ネットワークである港湾の強靱化をめざします。

取組内容

太平洋と日本海を結ぶ津軽海峡にある函館港は、多くの船舶が入港するため平素から岸壁が不足しています。このことから、今後のカーボンニュートラルポート形成に向けて、既存の港湾施設の良好な維持管理とその有効利用を図りつつ、新たな港湾施設の規模および配置の計画について、国と連携して函館港港湾計画の変更に向けた調査等を実施します。

【事業担当者のコメント】

函館港はGXと脱炭素化による2050年のゼロカーボンに向けて、官民連携の函館港港湾脱炭素化推進協議会を設置し、令和8年（2026年）3月の港湾脱炭素化推進計画の策定にも取り組んでおります。将来を見据えた函館港の様々な取り組みについて、応援していただける皆様からのご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



荷主や船社から選ばれる競争力のある港湾の形成

カーボンニュートラルポート(CNP)のイメージ



[本事業の担当課]

港湾空港部 港湾課

～誰もが健やかで心豊かに暮らせるまちをめざして～

事業目的

函館市では、市民の健康寿命の延伸を目的として、健康に関する正しい知識の普及や啓発、運動の推奨、各種予防接種などにより、生活習慣病をはじめとする様々な病気の予防を図るとともに、がんの早期発見のための検診事業を行っているほか、病気に罹ってしまった方の、生活の質の向上を図る取り組みなども行っております。

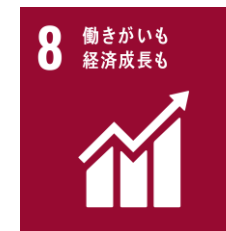
取組内容

- ・はこだて健幸プロジェクト
官民協働により地域全体で健康づくりに取り組めるような基盤整備を推進し、市民へ、無理なく楽しんで健康になれるコンテンツを提供します。
- ・带状疱疹予防接種・任意接種事業
50・55・60歳を対象に带状疱疹ワクチンの接種費用の助成を実施します。
- ・がん患者医療用補正具購入費助成事業
新たに、がん治療に伴う乳房の形の変化に対応するための医療用補正具を助成の対象に追加します。

【事業担当者のコメント】

函館市では、健康寿命の延伸を目的として、様々な取り組みを行い、市民の健康の増進を図っています。健康で長生きするというのは非常に大切なことです。こういった取り組みを応援していただける事業者の皆様からのご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール



[本事業の担当課]

保健福祉部 健康増進課
保健福祉部 保健予防課

命を守る防災プロジェクト

函館市

～ 防災力向上のためのソフト対策 ～

事業目的

近年、自然災害が激甚化・頻発化するなか、住民等の生命、身体および財産を守るため、避難所の質の向上や防災意識の醸成・地域防災力の向上、防災訓練の実施など防災・減災対策の強化に取り組んでおります。

取組内容

- ・避難所における食料・飲料水、毛布など資機材の備蓄
- ・ハザードマップの作成・配布
- ・Web版ハザードマップの更新
- ・避難所標識の更新
- ・避難行動要支援者支援制度の推進
- ・住民参加型防災訓練の実施
- ・自主防災組織の育成・支援 など

【事業担当者のコメント】

地域の災害リスクや避難場所を事前に市民へ周知することや、被災時に必要な備蓄品の準備など、いつ起こるか分からない災害への日頃の備えがますます重要になっており、防災対策の向上に、より一層取り組んでいく必要があります。皆様のご支援よろしくお願いいたします。

関連するSDGsゴール



[本事業の担当課]

総務部 災害対策課

新幹線の函館駅乗り入れ検討事業

函館市

～ より近く！東京・札幌から新幹線でまっすぐ函館へ～

事業目的

平成28年（2016年）に開業した北海道新幹線の新函館北斗駅は隣接する北斗市にあるため、**JR函館駅までは在来線への乗り換えが必要**です。

また、北海道新幹線が札幌まで延伸すると、その在来線の区間はJRから**経営分離**され、函館駅は特急が停車しないローカル線の駅となり、現在、特急で直通となっている札幌からも乗り換えが必要になります。

このような乗り換えによるホームの移動の解消や所要時間の短縮のため、国際観光都市である本市では市民の悲願でもある新幹線の函館駅乗り入れをめざします。

取組内容

新幹線の函館駅乗り入れは、深刻な人口減少に直面する本市のまちづくりの起爆剤となり、まちの活性化や賑わいを創出し、本市の経済全体を押し上げイメージアップにつながると期待されます。このため、**フル規格新幹線が函館駅に乗り入れるための調査検討**を行っており、現在、実現に向け関係機関との協議を行っています。

【関係サイトのURL】

- ・新幹線の函館駅乗り入れに関する調査
- ・市民フォーラム「新幹線の函館駅乗り入れに向けて」～北海道新幹線とまちづくりについて考える～

【事業担当者のコメント】

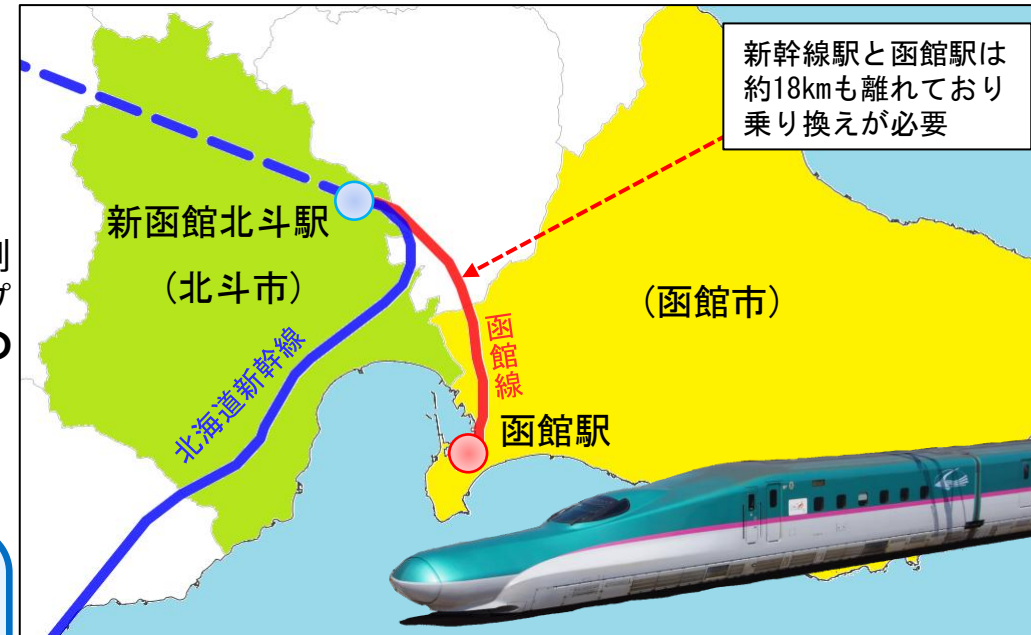
函館駅への新幹線乗り入れ効果は、本市をはじめ北海道全域、東北、首都圏へと全国的にネットワーク効果が発揮され、また、在来線区間を走行するフル規格新幹線は、全国的にも珍しい取り組みとなり、新たな函館市のシンボルとして期待されます。応援していただける事業者様からのご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール

8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



新幹線駅と函館駅は約18kmも離れており乗り換えが必要

[本事業の担当課]

企画部 計画推進室 新幹線・地域交通政策課

函館の魅力向上・発信

函館市

～ 観光スポットの整備, 魅力の発信～

事業目的

函館市の観光資源を磨き上げ, その魅力を発信することで観光宿泊日数の増加および観光消費額の増大をめざします。

取組内容

- ・函館山山頂展望台等の混雑緩和や八幡坂のマナー違反の未然防止
- ・市内主要観光地を巡る定期観光バスの実証運行
- ・アニメ, ゲーム等コンテンツの関連イベント開催に対する支援
- ・市内および近郊の観光施設等におけるバリアフリー対応状況の調査・発信
- ・倶知安・ニセコエリアでの誘客プロモーション
- ・青函エリア一体での観光プロモーション
- ・観光入込客数が減少する秋季・冬季における各種イベントの実施等
- ・早朝・ナイトタイムコンテンツの造成, ペットツーリズムの推進等のコンテンツ造成
- ・外国人観光客に対応可能なガイドの育成
- ・観光客の動向や消費額等の調査・分析

【事業担当者のコメント】

函館市は, 観光資源が豊富なまちであり, 多くの観光客が訪れます。観光客の方に快適に楽しんでいただけるよう, 観光コンテンツの充実, 観光客の受け入れ体制の整備等, 各種事業に取り組んでまいります。皆様からの温かいご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール



[広域連携自治体例]



[本事業の担当課]

観光部観光総務課, 観光部観光推進課

国内外の交通ネットワーク拡大プロジェクト

函館市

～ 空港・港湾における受入体制整備・充実化を図り、
国際航空便の新規就航やクルーズ船の寄港回数拡大をめざす～

事業目的

現在、函館空港では高まるインバウンド需要に対して、グランドハンドリング業務の人材不足が課題となっていることから、国際航空便の就航機会を逃さないよう、受入体制の強化を図ります。

また、港湾においては、近年増加傾向にあるクルーズ船寄港にあたり、安定的な受入体制の整備や地域との連携やおもてなし等をより充実させるとともに、積極的な誘致活動を展開し、さらなる寄港回数拡大をめざします。

取組内容

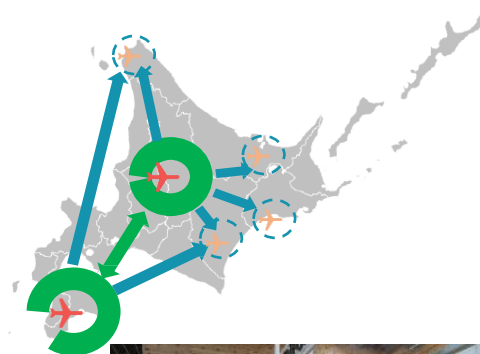
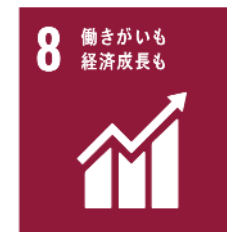
新千歳空港を除く道内空港（旭川・帯広・釧路など）と連携し、函館・旭川空港を拠点空港として国際航空便の新規就航に対応できるグランドハンドリング体制を整えるとともに、他空港で新たな定期便等を受け入れる際、拠点空港から人材を派遣するなど、北海道全体で受入体制を構築します。

クルーズ船で訪れる乗船客に向け、観光案内等のサービスを継続的に提供するとともに、地元の学生や事業者と連携した函館らしいおもてなしに取り組みます。また、受入体制の質を維持するため、受入業務の外部委託化や、寄港誘致のさらなる活動強化を図ります。

【事業担当者のコメント】

交通の要衝である空港・港湾の受入体制を整備・充実化し、函館へのさらなる誘客だけでなく、訪れた方が快適に観光を楽しめる環境を整えていきたいと考えております。函館を通じて「北海道や日本の魅力」を伝えてまいりたいと思いますので、応援いただける事業者様からのご支援を心よりお待ちしております。

関連するSDGsゴール



[本事業の担当課]

港湾空港部 港湾空港振興課

～ 運動やスポーツで活気あふれる元気なまちに！ ～

事業目的

函館市では、スポーツ推進の基本的な方向性を示す「函館市スポーツ推進計画」を定め、「運動やスポーツでつながろう！活気あふれる元気なまち函館」という基本理念のもと、市民だれもが生涯を通じ、健康を守り、スポーツに親しむことができるよう、各種スポーツ施策を展開します。

また、運動やスポーツにアクセスしやすい環境づくりなどの新たな視点を取り入れ、スポーツを通じた地域の活性化や、スポーツに関わるコンテンツの造成などによる交流人口の拡大をめざします。

取組内容

- ・アーバンスポーツ振興事業
緑の島イベント広場にスケートボードのセクションを暫定的に設置
- ・スポーツ合宿、イベント、大会による地域活性化
函館市は春先の雪解けが早く、夏季は冷涼などの気候条件や、各種交通手段の利便性、市内に多数あるスポーツ施設の活用など、スポーツをするうえでの優位性を活かし、合宿、イベント、大会等の誘致や環境整備に取り組む

【事業担当者のコメント】

スポーツは人と人を繋げ地域の生活を豊かにします。スポーツを「する・みる・ささえる」ことが持続可能な地域となるため、ともに「ささえて」いただける事業者の皆様からのご支援をお待ちしております。

関連するSDGsゴール



[本事業の担当課]

教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課

文化財の保存・継承プロジェクト

函館市

～未来へつなぐ、函館の歴史。貴重な文化財を守るために～

事業目的

豊かな歴史と文化に恵まれた本市において、先人から受け継がれた数々の文化財はまちの魅力を生み出す源泉であり、市民の誇りとするところです。しかし、歴史的建造物や史跡等の多くの文化財は老朽化が進んでおり、その維持管理には多額の経費が必要です。市はそれら貴重な文化財を良好な状態で次世代に継承していくことをめざします。

取組内容

- ・歴史的建造物や史跡に係る維持修繕や快適な観覧環境の整備
(外壁や舗装修繕, トイレ改修等)
[例] 重要文化財旧函館区公会堂
世界遺産である史跡大船遺跡や史跡垣ノ島遺跡
特別史跡五稜郭跡や史跡四稜郭, 史跡志苔館跡
- ・箱館奉行所や縄文文化交流センター等, 本市の文化財や歴史を伝える施設に係る維持修繕や快適な観覧環境の整備

【事業担当者のコメント】

本事業の対象となる文化財は函館市の歴史を語る重要な資産であり、保存修理により地域の文化的価値を高めることにもつながります。皆様のご支援により、国民的財産ともいえる貴重な文化財を守り、未来へとつなげることができます。ぜひ、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

関連するSDGsゴール



[本事業の担当課]

教育委員会 生涯学習部 文化財課

サステナブルな公共交通づくりプロジェクト

函館市

～誰にとってもわかりやすい便利な公共交通をめざして～

事業目的

函館市は古くから、国内外の人・文化が行き交う開けたまちとして発展してきました。近年の人口減少により、函館市の公共交通においても、利用者の減少や運行を支える人材の不足が進んでいます。このような中であっても、市民生活や人々の交流を支えてきた公共交通を、将来にわたって持続させていくことが必要です。

多くの方に愛される公共交通をめざし、交通事業者などと連携をとりながら、サステナブルで魅力ある公共交通ネットワークの構築を進めます。

取組内容

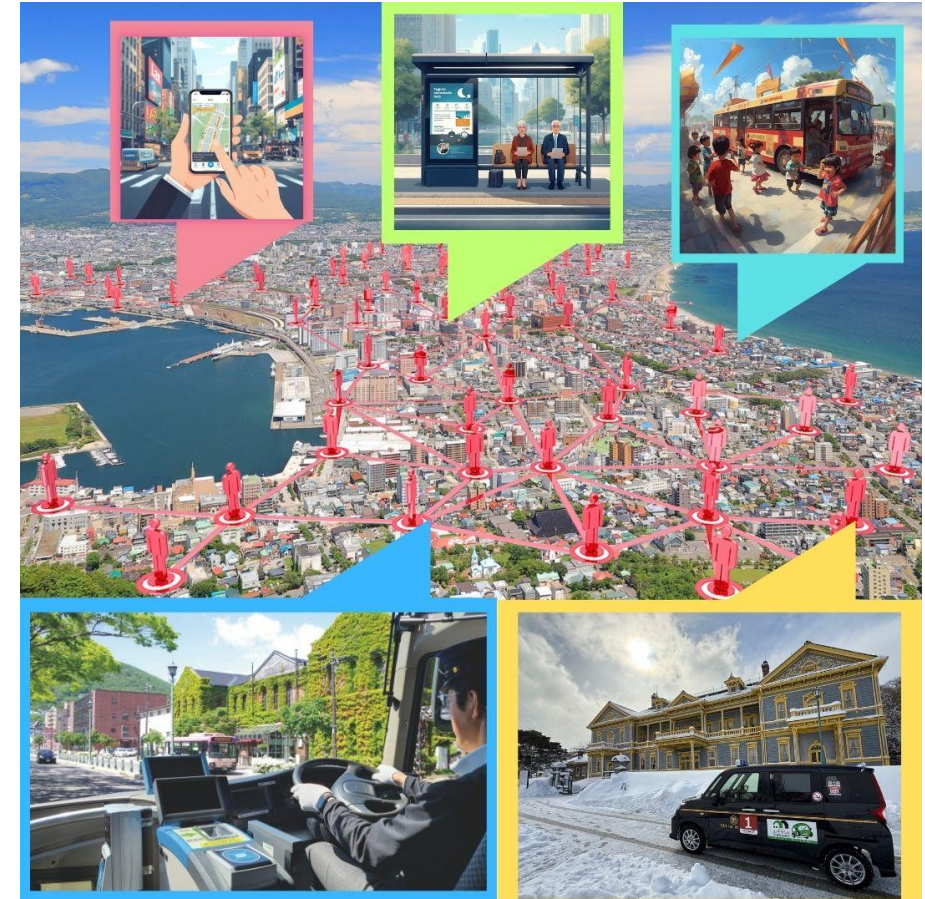
- 地域特性に応じた公共交通デザイン
 - ・ICT技術や人流データ等を活用した、効率的で利便性が高く、わかりやすい公共交通ネットワークの構築
 - ・AIオンデマンド交通や自動運転などをはじめとする、新たな技術を用いた交通の導入
- スムーズな乗継環境の整備
 - ・乗継や次便の待機時でも「待つことが苦にならない」快適な待合環境の整備
- 公共交通の利用促進
 - ・こどもから高齢者までが公共交通に親しみ、利用したいと思うようなイベントや教育機会の提供
- 公共交通のドライバーの確保
 - ・バスやタクシーの運転に必要な資格（2種免許）取得のための支援
 - ・気軽にバス会社へ就職相談できる機会の提供や、函館の魅力伝える移住相談の実施

【事業担当者のコメント】

公共交通は、“移動のためのツール”であるだけでなく、人と人・まちとまちをつなぎ、サステナブルな未来への架け橋となる大切な基盤です。将来を見据えた取り組みを応援して下さる企業の皆様からの温かいご支援を心よりお待ちしております。

関連するSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを



【本事業の担当課】 企画部計画推進室新幹線・地域交通政策課